

単元名 受けつがれる生命

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 生命の連続性について理解することができる。
 (3) メダカやアサガオ、人の受け継がれる生命について、進んで関わりながら学ぼうとする。

標準的な展開例

05050302_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 受け継がれる命について、これまで学んできたことを基に、学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまでの学習で扱った、植物や動物（生き物）について振り返り、問題を見いだす。 <ul style="list-style-type: none"> ・メダカ ・アサガオ、ヘチマ ・人 ・生き物に共通することがあるのかな。 ★生き物に共通することについて、考えよう。 ○これまでの学習を振り返り、調べたことや分かったことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・メダカは卵の中で、だんだんメダカらしくなり、卵からメダカの子がかえる。 ・アサガオは種子が発芽し、その後、花を咲かせて実ができる。 ・人の受精卵は、母親の子宮の中でだんだん人の姿になり、母親から子が生まれる。 ○分かったことをまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・人やメダカなどの動物は、生まれた子が育って、次の世代へと生命をつなげていく。 ・アサガオなどの植物は、実の中にできた種子が発芽して成長し、次の世代へと生命をつなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物と植物を分けて考えるのではなく、全て生き物であるという視点を与えて、学習課題を見いださせる。 ・「メダカのたんじょう」「花のつくり」「花から実へ」「人のたんじょう」の単元で学習したことを振り返り、考えさせる。 ・教科書P.186～187の資料を参考に話し合いをさせてもよい。 ・生き物は子孫を残して、生命を受け継いでいるという共通点に気付かせる。 ・生き物はかけがえのない命をもっていることその命を大切にしていかなければならないことに着目させる。 <p>【評】分かったことをまとめる活動を通して、「知識・技能」，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

<関連>

- ・第4学年「季節と生き物」
- ・中学校第3学年「生物の成長とふえ方」